

あとがき

神戸市のポートアイランド南半分の第2期工事部分に、再生医療の基盤技術にかかる研究施設や研究体制を整備することがまだ計画段階であった平成12年12月から本事業はスタートした。神戸市が立ち上げた神戸医療産業都市構想と連動して、このプロジェクトの根幹に係る考え方である“基礎の研究成果を臨床へとつなげる橋渡し研究 = トランスレーショナル・リサーチ”を推進する分野の1つとして再生医療を掲げ、「再生医療にかかる総合的技術基盤開発」を本事業の題目とした。

事業開始当初は関西圏を中心としたリソースを活用することで研究事業が遂行されたが、神戸理化学研究所の発生・再生科学総合研究センターや先端医療センターといった中核施設が整備されると、関係者がポートアイランドに結集することになり、研究事業の活性化はもとより、関連企業の集積も現在では80社を超える等、急ピッチでバイオメディカル分野のクラスターが形成された。

また、積極的な情報発信として、Webサイト（TRC）、関西ティッシュエンジニアリング・イニシアティブ（kTi）等の学会やワークショップを主力に行い、再生医療技術に係る地域COEとしての必須機能が神戸に備わったと考えている。

神戸は、これからも本事業の研究成果を活かし、再生医療支援ビジネスコンプレックスの早期実現に向け、再生医療技術の開発段階に必要とされるビジネスの掘り起こしを進めていく。

最後に、本事業が大きな研究成果を収め5年間の実施期間を終了したことにおいて、事業に参画頂いた大学、企業、行政機関等の関係者のご協力並びにご努力、そして中核機関の財団法人先端医療振興財団へご指導頂いた、独立行政法人科学技術振興機構 地域事業推進部に厚く御礼申し上げます。